

1. 事業の位置付け

事務事業名	中心市街地防犯パトロール事業		
事業担当	市民部 くらし安全課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	02	② くまの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	03	3 誰もが安心して、安全、快適に過ごせる環境づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 警察・防犯協会・商店街等】		
目的・目標		事業の概要	
市民が安心して歩ける中心市街地になっています。		市民が安心して歩ける中心市街地にするため、警察、商店街、市が連携して防犯パトロールを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	パトロール実施回数						単位	回
	説明・算定式	中心市街地をパトロールする回数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			6	6	6			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	紅谷町犯罪件数						単位	件
	説明・算定式	紅谷町で発生した犯罪件数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			350	340	330			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	計画していたが、天候不良のため実施できなかった。							
平成19年度の主な取組と成果									
中心市街地にて、警察・防犯協会・商店街等の関係団体と連携して防犯パトロールを6回計画したところ、天候不良のため4回の実施となったが、紅谷町で発生した犯罪件数は前年度程度に抑えることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	「夜間、怖くて中心市街地を安心して歩けない」、「防犯パトロールを強化してほしい」等の要望が市長への手紙などにより市民から寄せられている。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	事業の性質上、単年度のみで判断するのではなく、継続して実施していくことで、成果向上が期待できる。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心市街地の治安向上には、防犯パトロールが最低限必要不可欠であり、警察・防犯協会・商店街等関係団体と連携することにより、効果的に分担して行っている。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	事業は取締り、啓発が中心となるので、警察・防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んで実施していくことで効率的・効果的に実施している。	● 高 ○ 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 「安心・安全のまちづくり」には治安は重要な要素であり、警察だけでなく防犯協会・商店街等多くの関係者を巻き込んでいくことで効果的に実施していきたい。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施	防犯パトロールの 実施		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,518	2,518	2,518	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,518	2,518	2,518	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 本事業は、中心市街地の治安向上のため必要不可欠なものであり、今後も引続き実施していくべきである。警察・防犯協会・商店街等と連携しながら効果的に実施していきたい。	
平成21年度取組方針	
事業の実施にあたって、天候等の不確定要因があるものの、成果指標に掲げる目標の達成に向け、引き続き事業を展開していく。	
課長コメント	中心市街地の防犯対策については、平成18年度、平塚警察署に「平塚駅前地区歓楽街総合対策推進協議会」が設置され、今後はこの協議会と協働していく方向で効果的な活動を進めていきたい。